

# くらしの情報

新処理施設・新最終処分場  
のお知らせ

編集・発行  
一関地区広域行政組合（一関市・平泉町）

## 新処理施設・新最終処分場 施設整備基本計画を策定しました

### エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画

組合が管理する一関清掃センターと大東清掃センターのごみ焼却施設は、老朽化が進行しており、これらに替わる新たな施設の整備が必要となっています。また、近年はごみ焼却で発生する熱エネルギーを積極的に回収して活用することによって、温室効果ガス排出量を削減することも期待されています。

本基本計画は、新たにエネルギー回収型一般廃棄物処理施設（以下「新処理施設」という。）を整備するために、処理方法や施設規模、環境保全対策などの基本的な内容について考え方をまとめたものです。

#### 1 施設整備基本方針

- (1) 安定性に優れた安全な施設
- (2) 環境に配慮した施設
- (3) 廃棄物を資源として活用できる施設
- (4) 災害に強い施設
- (5) 経済性に優れた施設

#### 2 基本的事項

- (1) 処理対象ごみ
- ①可燃ごみ
  - ②可燃粗大ごみ
  - ③可燃残渣
  - ④し渣・汚泥
  - ⑤災害廃棄物

- (2) 施設規模  
106 t (53トン×24h×2炉)

※令和9年度（稼働開始予定）の処理対象ごみ量26,324トン（推計）と災害廃棄物の見込み量から算出

#### 3 建設候補地

所在地 一関市弥栄字一ノ沢ほか

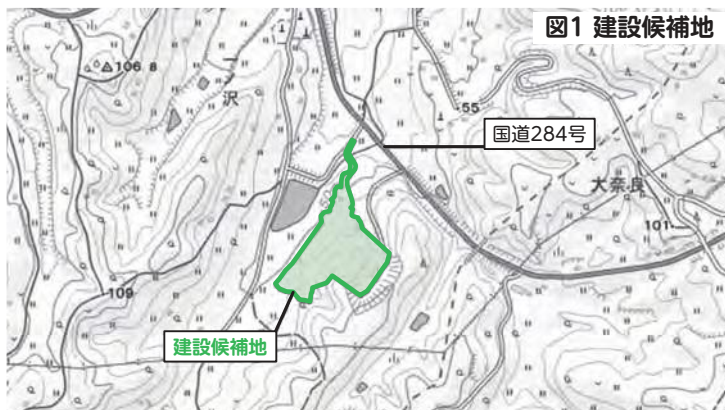


図1 建設候補地

（建設候補地の範囲は今後変更になる場合があります）

## 4 公害防止基準

排ガス：大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法に定める排出基準又は、法の基準よりも厳しい自主基準を設定

表1 排ガスの自主基準値

項目	排出基準値	自主基準値
ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)	0.08以下	0.02以下
硫黄酸化物 (K値)	17.5以下 (5,000ppm程度)	30ppm以下
窒素酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)	—	—
塩化水素 (ppm)	250以下	100以下
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	1以下	0.1以下
水銀 (μg-TEQ/m <sup>3</sup> N)	30以下	30以下

(排出基準値は、施設規模2～4t/hの施設に係る値)

排水：プラント排水は、循環再利用とし無放流

騒音：騒音規制法に基づく規制対象区域外

振動：振動規制法に基づく規制対象区域外

悪臭：悪臭防止法に基づく規制対象区域外

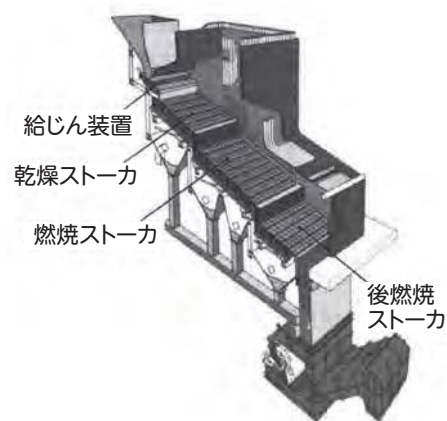
ばいじん：環境大臣が定める方法により処分又は再生

※環境影響評価の予想結果を踏まえ、対応を検討

## 5 処理方式

焼却方式（焼却炉の形式：ストーカ炉）

図2 ストーカ式焼却炉の構造例



## 6 環境保全計画

周辺環境への影響を最小限にするための対策を講じます。

- (1) 排ガス処理 (2) 排水処理 (3) 騒音対策  
(4) 振動対策 (5) 臭気対策 (6) 集じん灰処理

## 7 熱利用計画

ごみ焼却にともない発生する熱は、廃熱ボイラで回収して蒸気タービンで発電を行い、施設の運転などに利用するとともに、場外への供給を行います。

エネルギー回収率は18.0%以上とします。

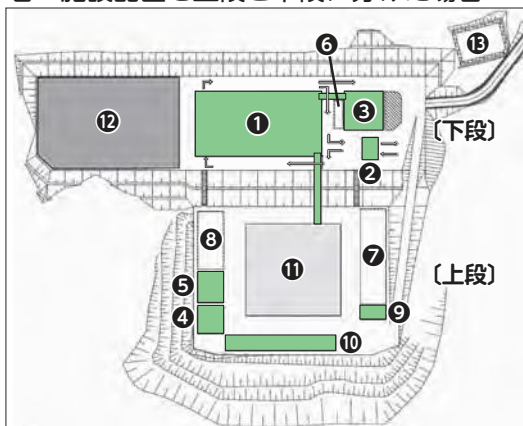
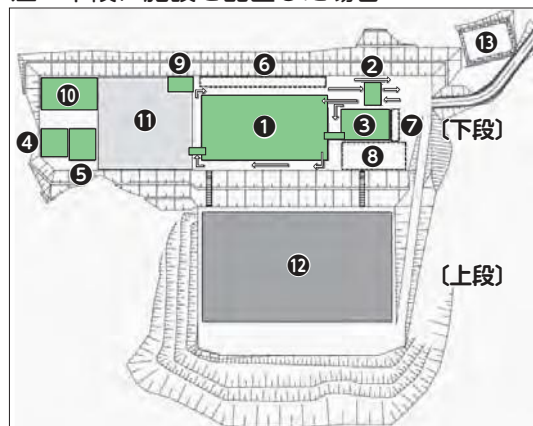
## 8 施設配置計画

施設配置は、今後、プラントメーカーの提案などにより決定します。

図3 施設配置（例）

左：下段に施設を配置した場合

右：施設配置を上段と下段に分けた場合



- ① エネルギー回収型一般廃棄物処理施設
- ② 計量棟
- ③ 管理棟
- ④ 資材保管庫
- ⑤ 車庫棟
- ⑥～⑧ 駐車場
- ⑨ 洗車場
- ⑩ 資源物ストックヤード
- ⑪ リサイクル施設整備用エリア
- ⑫ 災害廃棄物ストックヤード
- ⑬ 防災調整池

## 9 事業スケジュール

表2 事業スケジュール

※新処理施設は令和9年度中に稼働する計画

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
環境影響評価							
施設整備基本設計							
PFI導入可能性調査							
用地測量							
用地取得							
事業者選定							
実施設計・建設工事							
試運転							
施設稼働							★

注) ■ : 実施する期間

## 10 概算事業費と財源計画

新処理施設建設費：9,794百万円  
(推計)

※建設費は同規模施設の整備実績などから推計。

※建設費は施設本体及び関連施設を見込んでいます(図3の①～⑨)。

※財源は循環型社会形成推進交付金、地方債、一般財源を見込んでいます。

## 一般廃棄物最終処分場整備基本計画

組合が管理する舞川清掃センター、花泉清掃センター及び東山清掃センターの最終処分場の埋立容量が残り少なくなっていることから、これに替わる新たな最終処分場の整備が必要となっています。

本基本計画は、新たに一般廃棄物最終処分場(以下「新最終処分場」という。)を整備するために、施設形式や施設規模、環境保全対策などの基本的な内容について考え方をまとめたものです。

### 1 施設整備基本方針

- (1) 安定性に優れた安全な施設
- (2) 環境に配慮した施設
- (3) 災害に強い施設
- (4) 経済性に優れた施設

### 2 基本的事項

- (1) 埋立対象物
- ①焼却残渣
  - ②不燃残渣
  - ③不燃物

- (2) 埋立期間及び埋立規模
- |         |     |        |                       |
|---------|-----|--------|-----------------------|
| 全体埋立期間  | 25年 | 全体埋立規模 | 126,800m <sup>3</sup> |
| (内訳)    |     |        |                       |
| 第1期埋立期間 | 15年 | 埋立規模   | 80,600m <sup>3</sup>  |
| 第2期埋立期間 | 10年 | 埋立規模   | 46,200m <sup>3</sup>  |

### 3 建設候補地

所在地 一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか



(建設候補地の範囲は今後変更になる場合があります)



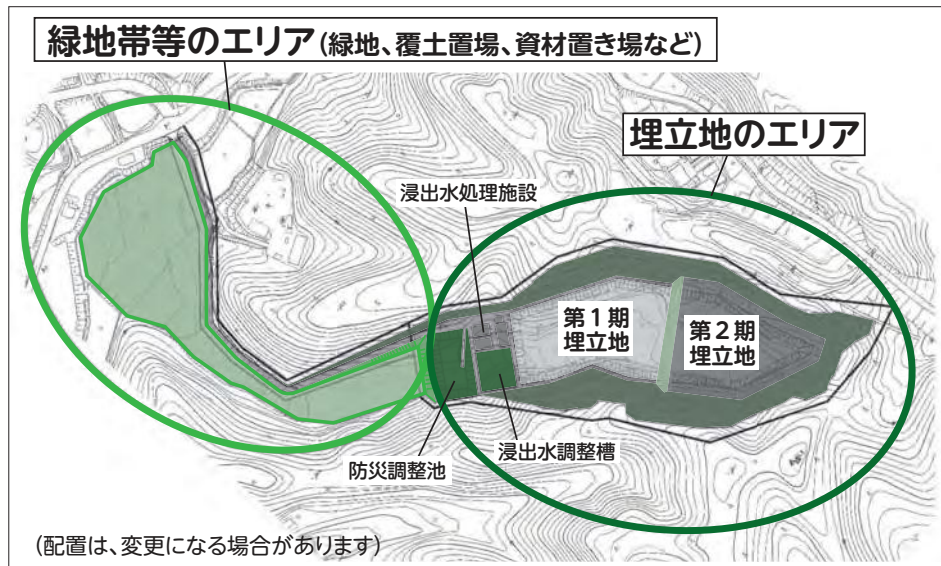
## 4 施設形式

国内で導入実績がある「オープン型（※）」と「クローズド型（※）」の利点と課題を整理、比較検討し、「オープン型」としました。  
 ※「オープン型」は、屋外開放型で屋根などが無い形式  
 ※「クローズド型」は、屋外閉鎖型で埋立地を屋根などで覆う形式

## 5 施設計画

図2 施設配置（例）

### (1) 施設配置計画

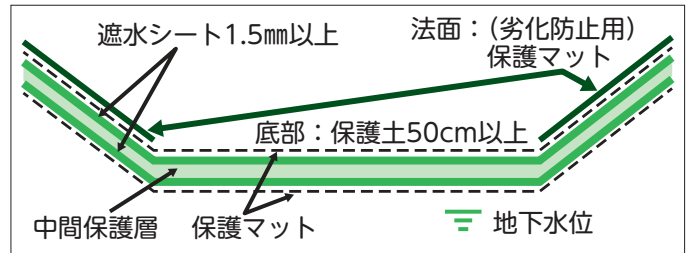


### (2) 遮水工計画

浸出水（※）の流出防止を目的として、十分な強度、耐久性、確実な施工性、容易に破損しない「二重遮水シート」による遮水構造を採用します。

※浸出水とは…埋立地に流入した雨水などが埋立層を通過して浸み出した水

図3 遮水構造（例）



### (3) 漏水検知システム

漏水検知システムは、遮水シートの万が一の破損に備え、漏水の有無を常にモニタリングするシステムです。

漏水箇所の特定精度が高い「電気式検知法」の採用を検討します。

### (4) 浸出水処理施設と浸出水調整槽の規模

浸出水処理施設（※）と浸出水調整槽（※）の規模は相互に関連します。調整槽を大きくすることで、浸出水処理施設への流入変動量を平均化できるため、浸出水処理施設の規模をある程度小さくすることが可能です。埋立地に雨水などの内部貯留が生じないことを原則として、過去30年間の降水量データなどを基に水収支計算を行い、合理的な規模関係が得られるところで設定します。なお、最終的な規模は基本設計で決定します。

・浸出水処理施設の規模 120m<sup>3</sup>/日 ・浸出水調整槽の規模 3,329m<sup>3</sup>以上

※浸出水処理施設……埋立地からの浸出水を放流先の公共水域を汚染しないように安全な水質に処理するための施設

※浸出水調整槽……埋立地からの浸出水を浸出水処理施設に定量的に送るために、浸出水を一旦溜めておく水槽

### (5) 計画放流水質

より安全・安心な施設とするため、技術的に可能であり、合理的な範囲で法定の基準よりも厳しい独自の基準としています。

表1 計画放流水質

項目	計画放流水質
水素イオン濃度 (pH)	6.5 ~ 8.5
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	10以下
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	10以下
浮遊物質 (SS) (mg/L)	10以下
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	3,000以下
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	10以下
その他項目	基準省令以下

## 6 環境保全計画

周辺環境への影響を最小限にするための対策を講じます。

- (1) 水質汚濁防止対策 (2) 騒音・振動対策 (3) 臭気対策 (4) 飛散防止対策

## 7 事業スケジュール

表2 事業スケジュール

※新最終処分場は令和8年度中に稼働する計画

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地 形 測 量	■					
地 質 調 査	■					
基 本 設 計	■	■	■			
用 地 測 量			■			
用 地 取 得			■	■		
生 活 環 境 影 響 調 査		■	■	■		
実 施 設 計			■	■		
建 設 工 事					■	■
供 用 開 始						★

注) ■ : 実施する期間

## 8 概算事業費と財源計画

新最終処分場建設費：3,697百万円 ※建設費は、同規模施設の整備実績などから推計。

(第1期・推計)

※建設費は埋立地本体及び関連施設を見込んでいます。

※財源は循環型社会形成推進交付金、地方債、一般財源を見込んでいます。

計画は組合ホームページにも掲載しています。

一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>



LINE



～随時更新中です～

# 説明会を開催しました

第5回建設候補地周辺自治会説明会 / 第2回地区説明会 / 第6回住民説明会

## 第5回建設候補地周辺自治会説明会

説 明 会	開 催 日	会 場	参 加 者 数
新最終処分場	2月20日(日)	マリアージュ	17人
新処理施設	2月20日(日)	弥栄市民センター平沢分館	15人

## 1 主な説明内容

- 〈新処理施設〉
- 第4回建設候補地周辺自治会説明会の概要について
  - エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画(案)の概要について
  - 今後の予定について
- 〈新最終処分場〉
- 第4回建設候補地周辺自治会説明会の概要について
  - 一般廃棄物最終処分場整備基本計画(案)の概要について
  - 今後の予定について

## 2 主な質問や意見

質 問 ・ 意 見	回 答
<b>(新最終処分場)</b> これまでに若い方の意見や地域全体の意見を聞く方法を考えてほしいと言ってきたが、どのような対応をしてきたのか伺いたい。	1月末に建設候補地周辺自治会と組合が共催で開催した説明会の参加者には若い方々もおり、様々な意見をいただいた。また、広報紙やホームページのほか、組合の公式LINEアカウントも開設し、説明会の内容や質疑を閲覧できるようにしている。電話やメールなどで個別の意見もいただいている。意見をいただく手段や機会を少しずつ広げてきている。
<b>(新最終処分場)</b> 住民の声を聞いて候補地を絞り込んだのか。	候補地選定は、まず専門家による候補地選定委員会で専門的な立場で4か所まで絞った。その後の住民説明会で絞り込み方法を説明し、ご意見を聞きながら1か所に絞り込んだ。
<b>(新処理施設)</b> 今年の冬は降雪により国道284号で事故が起きている。今後も同様のことが推測され心配。	交通安全対策については、市の建設部及び県の土木センターと協議を始めている。まずは交通量調査を行い、その結果を踏まえて具体的な話をしていく。来年度の早々に業務を発注し、具体的な形を示していきたい。
<b>(新処理施設)</b> 悪臭について、煙突からの排気の中に臭いはあるのか。	ごみからの臭いは炉内で高温で燃焼させることにより分解される。煙突からの排ガスにはごみとは別の臭いが含まれているが、環境影響評価で評価を行う項目になっている。通常は全く問題になるレベルではない。

## 第2回地区説明会（千厩地区）

開 催 日 時	会 場	参加者数
3月5日（土）午後1時～	千厩保健センター	38人
3月5日（土）午後3時30分～		16人
3月6日（日）午前9時30分～		17人

### 1 主な説明内容

- (1) 候補地選定の経過について
- (2) 一般廃棄物最終処分場整備基本計画（案）の概要について
- (3) 今後の予定について

### 2 主な質問や意見

質 問 ・ 意 見	回 答
運搬は何トンのトラックが一日何台通行するのか。配置例のルートを通る場合、道路が狭く歩道もないので子どもの通学が心配。	運搬ルートはこれからの検討となる。配置例は一例であり決定したものではない。運搬は4トン車が1日4、5台程度と見込んでいる。これまでも心配の声をいただいております。運搬する時間帯を調整するなど対策を検討していきたい。
排水の放流先と思われる北ノ沢川は小さい川だが、大雨が降った場合でも問題はないのか。	施設には雨水を一時的に貯留するための防災調整池を設けて放流量を調整して放流する。設計時には、下流側での排水能力を算出する。小さい川であってもその能力を前提に防災調整池を設計し、排水対策を計画する。

質 問 ・ 意 見	回 答
最終処分場のイメージによる地域への風評被害が心配。丁寧な説明を受ければ理解できるが、興味がない方にとっては悪いイメージにしか映らない。	廃棄物処理の悪いイメージを払拭するような活動についての努力が足りないと感じた。改めて力を入れて理解を得るよう対応したい。
漏水検知システムは、停電時にもシステムが動作するような仕組みになっているのか。	充電装置など停電時の対応は十分に考えて設計する。また、施設の建設の際には電源を止めて試験を行い、停電時のシステムの稼働を確認する。
候補地を4つから1つに絞り込んだ段階だけではなく、段階を踏んでやってきたことを住民に十分説明して理解を得て、事業を円滑に進めてほしい。	最終選考候補地4か所を選定するまでの経緯や、最終選考候補地4か所を建設候補地1か所に絞り込む経緯は、これまで住民説明会などで段階的に説明してきた。また、広報でも建設候補地を絞り込むまでのダイジェストを掲載し、周知に努めてきた。今後も不足な部分は説明を尽くしていきたい。
市街地に近い北ノ沢に候補地が絞り込まれた理由が、土地取得の容易性という観点からではおかしいのではないかと思う。	情報提供のあった土地は土地取得の容易性の項目で評価しているが、比較評価項目の中の一つの項目であり、それだけで候補地を決めたのではない。

## 第6回住民説明会

開 催 日	会 場	参加者数
3月1日(火)	アイドーム	6人
3月4日(金)	平泉文化遺産センター	10人
3月5日(土)	川崎市民センター	2人
3月6日(日)	弥栄市民センター	10人

### 1 主な説明内容

- (1) エネルギー回収型一般廃棄物処理施設の整備について
- (2) 新一般廃棄物最終処分場の整備について

### 2 主な質問や意見

質 問 ・ 意 見	回 答
新処理施設の熱エネルギーの具体的な利用方法は決まっているのか。 住民にはどのように説明してきたのか。	新処理施設で発電し、まずは施設で利用する。残りの熱エネルギーは場外でも利用する方法を検討しているが、まだ決まっていない。 これまでの住民説明会では発電後の温水を使った場合にどのくらいの熱量があるかといった具体的な説明はしている。現在は教育福祉、防災、環境、産業の4つの分野で検討を進めている。今後、施設整備検討委員会で具体案を検討し、住民の皆様から意見をいただきながら決めていきたい。
最終処分場の浸出水の処理方式はどのようなものか。	埋立地から浸み出る水は、まず浸出水調整槽に貯留される。その後、浸出水処理設備で、カルシウム除去、生物処理による有機物除去、微細物を塊にする凝集沈殿、その他砂ろ過、活性炭吸着、消毒を行い、厳しい基準をクリアして放流する。



質 問 ・ 意 見	回 答
新最終処分場の飛散防止対策について詳しく説明してほしい。	飛散防止対策として、廃棄物を搬入した際は即日覆土を行う。また、埋立地周辺にはネットフェンスを設置する。近年はビニールをそのまま埋めることはないため、廃棄物が風で飛ばされるなどの問題が発生する事例は少ない。
新処理施設から新最終処分場への運搬車両やごみ収集車によって国道284号の交通量の増加が予想されるが、対策はするののか。	ごみ収集車と新処理施設へごみを直接持ち込む車両の台数は、1日150台程度、往復で300台程度を見込んでいる。また、最終処分場への運搬車両の台数は1日4台から5台、往復で8台から10台を見込んでいる。環境影響評価の中で、車両の交通量がどのくらい周辺環境に影響するかを調査し、結果を公表する。

## 豆知識 一般廃棄物と産業廃棄物

廃棄物には、大きく分けて『一般廃棄物』と『産業廃棄物』があります。

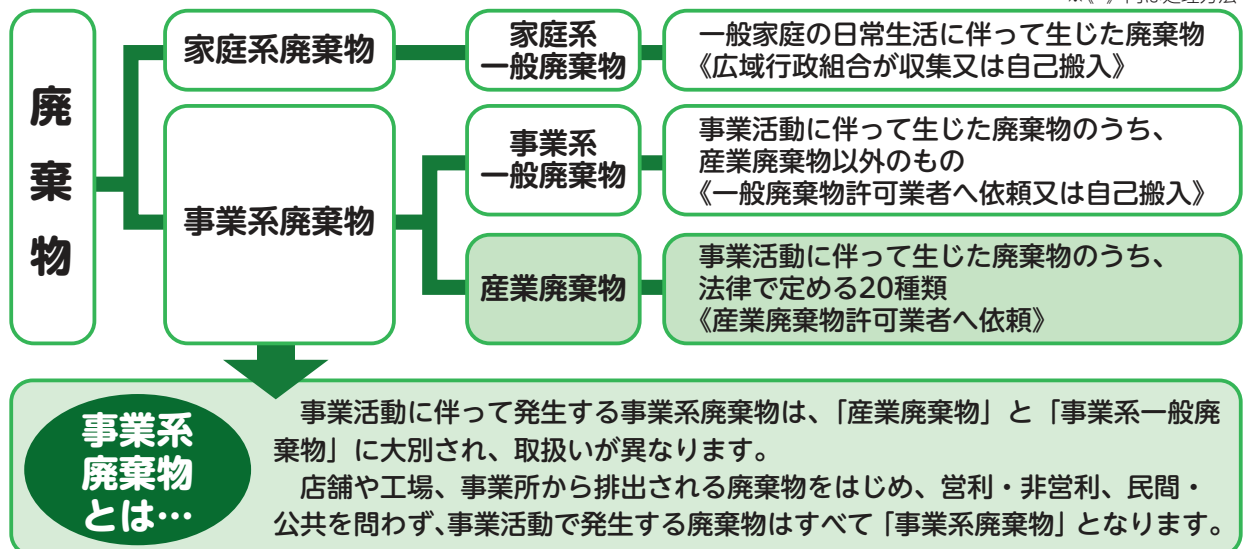
『産業廃棄物』は、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、法律で定める20種類をいい、それ以外の家庭から排出される廃棄物と、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち産業廃棄物以外の廃棄物が『一般廃棄物』とされています。

『一般廃棄物』は市町村が処理について責任を持ち、『産業廃棄物』は排出事業者が処理責任があります。

組合では、『一般廃棄物』の処理と最終処分を行っています。

## 廃棄物の分類と種類

※〈 〉内は処理方法



事業系  
廃棄物  
とは…

事業活動に伴って発生する事業系廃棄物は、「産業廃棄物」と「事業系一般廃棄物」に大別され、取扱いが異なります。

店舗や工場、事業所から排出される廃棄物をはじめ、営利・非営利、民間・公共を問わず、事業活動で発生する廃棄物はすべて「事業系廃棄物」となります。

組合では、住民の皆様からいただいたご意見などを踏まえながら、より良い施設となるよう施設整備検討委員会で検討し、事業を進めてまいります。詳しくは、組合ホームページをご覧ください。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■ 問合せ先 一関地区広域行政組合 総務管理課

〒021-8501 一関市竹山町7-2

TEL 21-2111 内線 8751 FAX 31-3224

一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>

